

静岡 第4隊

参加数 : 指導者 7名 スカウト BS22人 (内男子16人、女子6人)

VS4人 (内男子4人、女子0人)

参加指導者 : 隊長 大谷 正博 (大仁第1団)

副長 土屋仁、茅原正人、大谷孝子、増田勝則、駒坂太、増田えみ (全員大仁第1団)

1. 事前訓練(活動) (事前訓練・発隊式・壮行会 等 日付、内容)

- | | |
|-----------|---|
| 2月10日 | 第1回 県連隊長会議 青少年会館
三島地区 17NSJ 隊長会議 東地区防災センター |
| 2月18日 | 三島地区 17NSJ 結隊式 MOA美術館 |
| 3月7日 | 4隊リーダー打合わせ 間宮公民館 |
| 3月10日 | 資材確認、リーダー会議 くぬぎ会館 |
| 3月25日 | 第1回 保護者説明会 箱根の里 |
| 4月21日 | 4隊リーダー会議 隊長宅 |
| 5月12-13日 | 2隊、4隊合同訓練キャンプ 箱根の里 |
| 6月2日 | テント確認 くぬぎ会館 |
| 6月3日 | 三島地区2、3、4隊 隊長会議 慈恩保育園 |
| 6月9日 | 4隊リーダー会議 隊長宅 |
| 6月10日 | 買い出し ホームアシスト、カインズホーム |
| 6月23日 | ゲートの打ち合わせ くぬぎ会館 |
| 6月24日 | 隊資材準備 くぬぎ会館 |
| 6月30-7月1日 | 第2回 4隊訓練キャンプ スカウトの森 |
| 7月8日 | 第2回 県連隊長会議 青少年会館
4隊リーダー会議 隊長宅 |
| 7月15日 | 買い出し エース、業務スーパー他 |
| 7月16日 | 第2回 保護者説明会 慈恩保育園 |
| 7月21日 | コンテナ積み込み 沼津 JR コンテナヤード |
| 7月29日 | 三島地区 17NSJ 壮行会 三島生涯学習センター
歌詞カード作り 慈恩保育園 |
| 8月3日 | 出発式 |

2. 17NSJ 期間中 (移動、サイト、活動、健康状態(事故)等 自由)

8月3日 伊豆の国市 伊豆のへそ 22:00 出発

8月3日 現地到着 設営開始

8月4日 ゲート完成

8月5日 開会式

8月6日 教宗派を超えた集い リハーサル

プログラム参加

VS 隊 交流会打合わせ (場所: 静岡 4 隊)

富山 4 隊と交流会 (場所: 静岡 4 隊)

8月7日 教宗派を超えた集い

ジャンボリー大集会

8月8日 プログラム参加

VS 隊 交流会打合わせ (場所: 大阪 11 隊)

大阪 11 隊と交流会 (場所: 静岡 4 隊)

8月9日 プログラム参加

撤収開始

閉会式

8月10日 撤収

8:50 現地出発

19:00 伊豆の国市着

帰着式

上級班長、班長、次長解任式

ジャンボリー参加感想文（スカウト）

17NSJ

鹿肉班 VS 隊 室伏雄太

僕はこの17NSJで色々な体験をしました。ベンチャー隊として、班付けとして行くのは初めてで出発前には少し緊張していましたが約一週間のキャンプ生活を終え、異なる県のスカウトと交流を深め、その輪を広げることができたのが良かったです。

その色々な体験の中で特に心に残ったことが二つあります。一つ目は、大阪11団との交流会です。事前に11隊のベンチャー隊と打ち合わせをして個人的に盛り上がるか心配でしたが、本番はみんな楽しそうにやっていたので良かったです。二つ目は、閉会式です。最後のライブや花火などを楽しく見ることができました。

17NSJに行くことができたのは、保護者やリーダーの支援があったからだと思っています。本当に最高の思い出をありがとうございます。

初めてのジャンボリー

ウィング班 BS 隊 土屋未来

自分の気持ち

初めてのジャンボリーはドキドキ、わくわく感があふれていました。僕はまだボーイスカウトの一年も経っていないのにすごく遠いところ、長い生活にはちょっと不安がありました。「家族と離れるのも嫌だ」という気持ちが心の中にはありました。でも、石川県に着いたら仲間と協力し楽しい七日間の大キャンプになりました。今もバスの中にいるけどまだジャンボリーの思い出が頭に浮かんできます。家に帰っていっぱい話そうと思います。

楽しかったこと・気付いたこと・面白かったこと

- ・静岡県と石川県の空気の味が違うこと
- ・石川県の人口は二万人です。けどそこに一万三千人の人が来たからうんちやおしっここの処分がたまってる。

最後に

仲間と協力し助け合い、話し合うのはすごく大切、ジャンボリー僕に一生に一度の思い出をありがとう！

ジャンボリー参加感想文（リーダー）

思い出の地 珠洲再び

静岡4隊 隊長 大谷正博(自団 VS 隊長)

第17回 日本ジャンボリー参加にあたり、静岡4隊、スカウト26名、指導者7名、合計33名、一人の怪我もなく、静岡の地へ帰着したことを報告いたします。また、結隊式に始まり、壮行会までの間、地区、団、大会スタッフの皆様には、多くの便宜を図っていただき、誠にありがとうございました。

珠洲は私がボーイ隊の副長になり、ジャンボリーというものをこの目で初めて体験した第14回のジャンボリーの地でした。現地に入った時その当時の記憶が一気に思い起こされたのが感動的でした。また、今回のジャンボリーは、色々な面で初めて尽くしのジャンボリーでした。まずは自団で参加できたこと。小学校6年生から参加できたこと。自団のカブ隊の隊長含め3名のリーダーと、ボーイ隊、ベンチャー隊リーダー7名体制で参加できたこと、内女性リーダーが2名参加してくれた事、最後に私が初めて隊長として参加したことです。私以外はジャンボリー初参加ですが、副長はそれぞれ熱い想いで参加してくれました。

スカウトたちは、緊張はあるものの、最初はいつものキャンプの延長という感じで過ごしていましたが、自団参加ということもあり、普段のうっぷんやストレスが表面化し、爆発する場面も多々ありました。しかし、長期キャンプや他のスカウトとのふれあい、交流会や様々なプログラム、アリーナでの普段では味わえない体験を通じて、自分というものを見つめ、自分以外の人間と協調して生活することの大切さを、感じるようになってきました。出発前は、一週間は長いと感じていたのが、もう終わってしまうのかという残念さ、まだここに居たいと気持ちに代わっているのが手に取るようにわかりました。ジャンボリーを体験して。個人個人が確実に前に進んだように感じています。帰りのバスでは、地元に近づいた時には名残惜しいように、誰がということもなく、皆でジャンボリーの歌を歌っていた姿を見たとき、皆の心が一つになったんだなとジャンボリーのすばらしさを改めて感じさせられました。この気持ちを忘れずに、次のステップに進んでくれるだろうと確信しています。

最後に、我々を支えてくれた、団委員長をはじめ、団委員の皆様、不安の中暖かく送り出してくれた保護者の皆様、また、初めてジャンボリーに参加し、無理難題を言っても私を支えてくれた6名の副長に心より感謝申し上げます。

ありがとう！

そして次は東京で会おうジャンボリー!!

弥栄

第 17 回日本スカウトジャンボリー

静岡 4 隊 土屋 仁(自団 BS 隊長)

石川県珠洲市で開催された日本ジャンボリーに、私は、初めて参加しました。広大な大自然、スケールの大きさ、目に見えるもの全てが自分の予想を上回り、胸が高鳴りました。

日本全国から、集まったスカウト達が、静岡四隊と、挨拶をして、ハイタッチ・フリーハグを自然にかわしている姿を見て、「ああ。ジャンボリーに来たんだな。」と実感しました。気が付けば、あっという間の一週間でした。

中でも、アリーナ会場で行われた「教宗派を超えた集い」の中で、静岡四隊のスカウト達が、全国の代表として、ステージで歌を披露した姿は、堂々として勇ましく格好良かったです。又、他の隊との交流会も、リーダー・スカウト関係なく大はしゃぎで、歌い騒ぎ踊り、声が枯れるほど楽しみました。満天の星空の下、皆が、感動していたのを見て私も共感しました。帰りのバスでは、誰彼ともなく歌を歌い始めるスカウトが、微笑ましかったです。

静岡四隊の一員として何事にも代えがたい有意義な体験を、このジャンボリーでする事が出来ました。君たちと過ごした時間を決して忘れないでしょう。そして、君達スカウトとも、このジャンボリーを通して大きく成長出来たと思います。テーマ「冒険～能登のチカラ未来へ～」この経験を次の世代に伝え、今後の活動に活かしていきたいです。

最後に、静岡四隊のスカウト達「君たちの笑顔は最高だぞ！その笑顔をいつでも思い出してこれからも頑張っていくぞ！そして、ジャンボリーに関わった人達全てにありがとう。」

3. 大会本部・サブキャンプ・派遣団本部へ (提案 自由)

スカウト通信員の県連からの連絡がありませんでした。

活動写真

4日朝 バスの中



到着しました



初めての食事



交流会



プログラム



ゲートの前に全員集合



撤収

